

## 東京都交響楽団が本校で被災地支援、 弦楽四重奏コンサートを開催

一流の演奏家が奏でる音楽の言葉を受け取った生徒達

去る1月25日(木)に主催：東京都交響楽団による被災地支援、東京都交響楽団弦楽四重奏コンサートが本校で開催されました。

日本の一流の演奏家によるコンサートを間近で聴いた生徒達の感想をご紹介します。

### 【生徒の感想】

#### ◆音の違いがよく分かる (1年生)

初めて生で聴きました。息が合っていてすごくきれいでした。ヴィオラの優しい音が入りました。四人のハーモニーがきれいで、感動しました。音の違いがよく分かりました。

#### ◆映像では聴き取れない音 (1年生)

映像では聴きとれない細かい音まで聴きとれてすごいなあと思いました。個人的にはチェロが好きだったので、体に低く響く感じがいいなあと思いました。弦楽器の校歌がすごかったです。

#### ◆楽器が変わると響きも違う (2年生)

プロの方の演奏を生で聴いたことがなかったので、今回とても楽しみにしていました。一曲目の「アイネクライネナハトムジーク」を聴いたときには、その場の空気や音の振動や、キレイな音色を初めて肌で感じて、とても素敵でした。また、知っている曲だったので親近感がわきました。たくさんの曲の中でも特に校歌を一緒に歌うことができたのがうれしかったです。校歌をヴァイオリンなどとともに歌うことなどなかなかできないし、楽器が変わると響きも違って、違う曲のようでした。今回コンサートを開いていただいたいい経験になったし、思い出に残りました。機会があったらまた聴きたいです。



弦楽四重奏の伴奏で歌う校歌がまるで違う曲のようです。



弦楽四重奏の音色に聴き入る生徒達

#### ◆より一層音楽に興味 (2年生)

ブラームスのハンガリー舞曲第5番やモーツァルトのアイネクライネナハトムジークなど知名度の高い曲で皆が楽しめました。校歌やビリーブも初めての弦楽バージョンで、その綺麗な音色に魅了されました。八木節も和の音楽でありながら洋にアレンジされていて素晴らしいなあと思いました。より一層音楽に興味を持つことができました。

#### ◆一音一音が心に語りかけてくる (3年生)

初めて弦楽器の音を間近で聴きました。CDなどで聴いていた音とは全く違い、一音一音が心に語りかけてくるような音だと感じました。ヴァイオリンの音は本当に小鳥のさえずりのように聴こえました。ビオラはヴァイオリンとのハモリが美しかったです。チェロは低い音で曲全体を支えていると感じました。どの楽器も特徴のある音でした。演奏者の方々は演奏しているとき、とても楽しそうな様子でした。まさに音楽そのものを楽しんでいるようでした。コンサートでの時間はあっという間でした。音楽の素晴らしさ、楽しさを感じるようになりました。

#### ◆テレビやタブレットで聴くよりも (3年生)

初めて交響楽団のコンサートを聴きました。テレビやタブレットで聴くよりもとても迫力がありキレイでした。また、ヴァイオリンやヴィオラ、チェロの役割も教えていただき勉強になりました。演奏では私たちが知らない曲ばかりだと思っていましたが、知っている曲も演奏して下さったり、一緒に歌えたりしたのでとても楽しかったです。今回の演奏を聴かせていただきとても感動し、交響楽団の皆さんが演奏する曲をまた、聴きたいと思いました。